

REED-A  
2021 1月号

# リード・エー通信

[master@reed-a.org](mailto:master@reed-a.org)

NO.452 編集発行

(社福)リード・エー事務局

03-3857-8839

<http://www.reed-a.org>



## 《迎春》

理事長 西澤公一

コロナウィルスの猛威が一層の猛威を振るう中、新しい歳を迎えることになりました。

コロナ禍に苦しんでいる方々がどのような想いで新年を迎えられたのかと思いを馳せつつ、「冬来たりなば、春遠からじ」と信じましょう。リード・エーでも、メンバーさんたちにとっても行事がほとんどなく、楽しみの少ない1年だったのではないのでしょうか。しかし、「(行事が)無いの、どうして?」という疑問は時折口にしても、しっかりと仕事に励んでくれました。検温、手洗い、密にならないように食堂席の変更、喋らない、マスクをつける、日常が変わっていく中でもスムーズに適應していく様子に、「さすが!」と思わされました。彼らのたくましさ感謝です!そして、花を買ってくださるお客様、木箱を注文してくださる農家の方、内職仕事を発注して下さる業者の方々、感謝です!皆様のおかげで、メンバーさんにお給料を減らすことはなくお渡すことができています。職員にとってもきつかった1年でした。エッセンシャルワーカーとして、テレワークというわけにはいかず、一日三度の施設内消毒、メンバーさんが密にならないようにとの目配り、やる事が増えた中で、しかも仕事の性質上、メンバーさんと密になることが避けられないこともあります。個人としても旅行や会食も控えなければならず、息抜きもままならなかったでしょう。何とかこの1年乗り切ることができたことに感謝です。

そして、新しい年です。私たちがここ何年かの間に向き合わなければならない課題はメンバーさんの高齢化です。既にその兆しは見え始めていますが、作業所に関して言いますと、年齢とともに体力、集中力が落ちてくるのは避けられず、作業に参加するのが難しくなってきた人たちがいます。そのようなメンバーさんが、今まで仕事を通じて得られた達成感、仲間からの承認、金銭的報酬などを失うことなく、(今まで以上に)自分のペースで働ける場を提供することが必要になります。そのためにどういう体制にするか。例えばグループを別に一つ作り、色々な作業も取り込みながら、別プログラムで活動する。となると今の作業所の近くに別の場所を設けた方が良いのではないかと。ではその費用は?職員の配置は?設備は?など、この1年で方向性を打ち出し、実現に向けての一步を踏み出したいと考えます。ちなみにメンバーさんが65才になると障がい者福祉(作業所)ではなく、高齢者福祉制度(介護保険)を利用する(もしくはその両方)という選択もできます。その時点でのメンバーさんの状態によって、ご本人にとってどんな生活が望ましいのか、どのような利用の仕方が一番良いのか、私たちも判断のお手伝いをしますが、そういう時が来ることを、ご家族も心に留めておいていただきたいと思えます。

また、あしの家を利用しているメンバーさんたちに関しては、将来作業所に通うのが難しくなった時の事を考える必要があります。障がい者福祉(グループホーム)を利用しながらデイケアなどの高齢者福祉を利用するのか、それとも最近制度化された日中活動付きグループホームに今のあしの家を変更する、もしくは新しく作るのか、そして最終的に看取りまで行うとすると、どのような建物・設備・体制が必要なのか、そしてそれにかかる資金をどう調達するのか、数年のうちに道筋を付けていきたいと思えます。この1年を未来に向かった1年とすべく職員一同努めてまいります。

皆様のご理解、ご協力よろしくお願い致します。

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

とても寒い日が続きますが皆さんは体調を崩さずに過ごせているでしょうか？お正月はどのように過ごしましたか？昨年はコロナ渦中でとても大変な一年でしたね。マスク着用や手洗い、部屋の換気など引き続き、自分の身の回りで対策できることは続けていきましょう。12月中の畑での作



業もとても忙しく色々な仕事がありました。区内の子ども食堂に納品したテラスベリーのハンギング仕立ての製作・注文品の寄せ植えの製作・ポット上げ作業・植え替え作業・区内の集合住宅の落ち葉回収も大量ありました。落ち葉をみんなの力を合わせて移動し、腐葉土つくりのための作業準備を行いました。また、すっかり枯れ姿になった庭園の草木の刈込作業も大仕事でしたね。とても手間と根気のいる作業でしたが、その努力が来春以降また、庭園を素敵に彩ってくれることでしょう。本格的な寒さに備えてハウスのビニール貼の作

業も松本さんを筆頭にととても丁寧に作業されていました。大久保さん、桑原さんなどビニールを貼る前にハウス内の除草作業を行った皆さんもお疲れ様でした。今年は世界中がコロナの影響で様々な外部イベントが中止になりました。葦の会作業所も例外ではなく花苗を販売する機会を失いました。そういった中で、竹の塚センター、ベルクス、BIG-Aでの花売りも10月11月12月あたりは売り上げが1万円を超える回も続出していて販売員として選ばれている人の努力はもちろんのこと、日ごろの畑での細かい作業の積み重ねがお花を買ってくれるお客様にも伝わっているのだと思います。花売りに行くたびにお客様から言われるのは、“葦の会の苗は良く咲いて、何より長持ちする”ということです。

私自身も昔、ガーデニング店で働いていたことがありますが、ガーデニング店では花苗は作りません。市場や農家で仕入れてきたものを徹底的に管理してひたすら売るので。皆さんは自分たちの手で土から花苗を作り、更に管理（手入れ・肥料やり・植え替え）も行い、



販売までを行うという、とても大変なビジネスモデルを実践していることになります。それを維持していくには、メンバーの皆さんひとりひとりの技術力のアップがとても大事です。今までやってきた仕事を更に速く、丁寧に。例えば植え替えを任される人は今までよりもたくさんの数を植

え替えができるようにするにはどうしたら良いのか？（土や作業椅子、作業台に使うコンテナ、植え替え用のポットの準備を急ぐ。おしゃべりをしないで集中する。）職員に手直しされずに正確に植え替えるにはどうしたら良いのか？

（植え替え方が判らなければ職員に質問する。職員に教えてもらったやり方を素直に実践し自分のものにする。）その他にも皆さんなりにいろいろな方法を考えてみてください。まだまだ、寒い日が続きますが体調を管理しながら良い仕事をしていきましょう☆



# 奥君日記より (2020年12月)



- 1日 さて今日より12月だって!?今日のいきいき水彩は、「ゴールドクレスト・ラフランス・柿だった」時間をかけて書いたのに、上手く行かない俺が居た。
- 3日 中江さんと竹ノ塚センターに、花売りに行く。沢山持って行った花は、安くて綺麗な花から売れて行った。中江さんの売り方が上手いのかもかもしれない!
- 4日 「いきいき陶芸では、色塗り(釉薬付け)をやる!」一人2個くらいだ。今回はいつもと同じでは無いので出来が楽しみ、どんな色になるのか!? 今面白いのは、「マスクの内職」。割と忙しい様だ。今、落ち葉集めも行っていてこの作業は斎藤君の活躍が多い。
- 7日 今日は作業所で水越君達と「銀杏大」の箱を作る!とても急ぎで沢山作るため、畑班の幸坂君も参加だ。なにしろ1000枚・50束が必要だ。午後の仕事は水越君と話し合いから始める。今日の箱作りメンバーは、皆上手なので板にほんの少し釘を打っておくだけの釘打ちをする必要がない。なのに水越君が勝手に釘打ちばかりをやってしまう。水越君は折角できる人なのに、何かもったいない。そんなこんなで水越君が作った枠は、数えるほどだ。ホームでは、夜中に「しゃっくり」が出て、中々寝られず辛かった深夜だ!
- 8日 今日は言うまでも無く?池田さんが隣で箱作り、水越君の動きを見ていた。答えは俺と同じ「人が打った釘打ちはその人の癖があるから使いにくいので、止めて下さい!」池田さん曰く「皆上手なので個人個人で作った方が良い。見てごらん」と水越君が打った釘打ちを見ると釘がほとんど斜めに打ってあった!昨日俺も言った筈なのに。
- 11日 内職は、鬼のお面を折る仕事。帰りは、俺の大事な左眼の下が膨らんでいて、すぐお医者さんへ行こう!という池田さんの一言で眼科へ。先生曰く「結膜下出血」怖い病気かと思ったが、ほっとけば治るそうだ。池田さんに終わったら電話を入れた。何はともあれ、今日中に行けて良かったと思う俺が居た。
- 14日 午前畑仕事、午後は伊興セブンへゴミ取りと花植えを高島さん達と行った。しかし俺は、気温の変化か「急に頭が痛くなった」熱は無かったので仕事できそうだったがホームへ帰った。ホームは本間さんだった。そして俺は、ご飯を食べたらぐっすりと眠った。鍵が掛かっている俺の部屋だ!今日くらいは、穏やかに寝かせて欲しいもの。
- 15日 俺の昨日、良く眠れて朝から普通に戻っていた。本間さんからも「頑張れ!」と言われた。何か嬉しい!今日の畑は、榎崎さんが来ていて「何か安心して作業が出来る」午後は荒木さん本多さんとシレネのポット上げをする。
- 18日 さて、「本日は俺の誕生日だ!」それ程若くないが年寄りだと思われたくないので、寝る前に筋トレをやっている!去年の7月頃にエアロビの青木さんより教えてもらった方法だ。お昼休みは、榎崎さん達と俺が持って行った旅行先で乗った電車の切符や記念切符の事で盛り上がった。午後畑に行く時、皆で空を見上げた。戦闘機みたいな飛行機雲が見えて何か嬉しかった、俺と秋葉さんが居た!
- 21日 今日は「397年ぶりに木星・土星が超大接近した日だ!」397年前だと、江戸時代。昔は望遠鏡が無かったので見えなかったらしいが、次に見えるのは60年後2080年だそうだ!
- 24日 クリスマスイブの今日のお楽しみ給食は「トンカツ・ピザ・すいとん汁・りんご・プリン」皆それぞれに美味しかった。午後より、中江さんが箱打ちを手伝ってくれた。そして今年最後のエアロビは、青木さんと楽しく踊った俺達。ホームでは、クリスマス会をやる。世話人さんも密にならない様に色々と考えてくれる、本間さんと石井さんだ!



## 作業所日記

高島 明美

コロナ対策でマスクなどを徹底しているためか、今年は、インフルエンザの話がほとんど出てきませんね。(いいのか悪いのか…?) 葦の会のメンバーさんも、マスクにはだいぶ慣れてきましたね。かわいい手作りマスクをされている人もいて、随分とファッションとして成立してきているような気がします。

12月の内職はマスクケースの封入から始まりました。某銀行さんで配るもののように、一つずつ袋に入れて封留めをします。この作業、メンバーの皆さん結構好きなようです。大塚さん、秀島さん、久保さんは嬉しそうに入れていました。ミスもほとんど出ないので、職員も気持ち的に楽しく作業できました。



今月は、鬼のお面入れ・下敷き入れ・色紙入れ等、いろいろな種類の封入作業が来たのですが、変わったところで、フェイスシールドの部品と18種類のなりきりステッカーを封入するお仕事がありました。目から上のお面のようなものがついていて、今風のキャラクターが18種類もあります。机に並べたら圧巻でした。この作業は、土曜日1日で仕上げなくては行けなくて、職員の榎崎さんが指揮をとって行いました。まずは18種類を1枚ずつ取っていくのですが、とても薄い素材でしかも静電気でくっついているので、何枚も一度に取れてしまい、間違いなく取るということが難しいのです。こういう時に本領発揮するのが鄭さんなのですが、金曜日に練習したときには嫌々ながらで、すぐに作業をやめてステッカーが置いてあるところから遠く離れた席に行ってしまいました。お面の目が大きくて怖かったのではないかと推測したのですが…理由はわかりません。しかし、土曜日に他のメンバーさんがやっているのを見て安心したのか、途中からいいペースで作業できたようです。よかったです！その後の袋入れや封綴じは、安部さん・幸坂さん・大輝さんの選抜メンバーで黙々とこなしてくれて、無事に期限までに出来上がりました。…榎崎さんはとても疲れていましたけどね～。お疲れさまでした！



では、今月の挑戦シリーズ！！ 大塚さんは、いつもより少し大きめの検尿袋なら、紙がグシャッとならず検尿カップを入れることができるようになりました。向きも間違えることはありません。集中できれば、いつもの大きさの袋でもできるようになりましたよ。

荒木さんは、検尿袋を綴じれるようになりました。片手で空気を抜きながら綴じるのが、できそうでできないんです。しっかり話を聞いて、その通りに実践してくれていました。そして、ひよこの箱の中に入れる大きなジャバラの仕切りを折れるようにもなりました。職員の島田さんが「すごいんだよ！いいペースでササッと折るんだから！」と、嬉しそうに話してくれました。

今月最後の土曜日には、斎藤さんと藤牧さんが、榎崎さんにネギの箱作りを教わっていました。二人とも、真剣に、でも楽しそうに打っていました。ぜひ、しっかり覚えて戦力になってもらいたいですね！

来年は、遠足やお祭りができる年になりますように…。良いお年をお迎えください。

# あしの家だより



【西新井ホーム】

鎌田 奈緒子

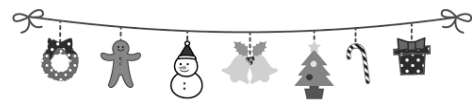
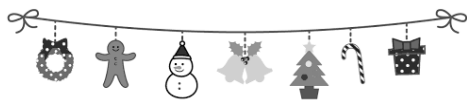
今年も残すところ あとひと月になりました

西新井ホームでは、「さあ もう今年も終わりますね。 さっ！お正月来るね！」と 勝さん。冬休みの帰省が楽しみなようです。でも、「遠出はできないね、コロナだからね、お父さん歳で疲れるからね」と自分で自分にいい聞かせています。



「クリスマスはケーキ食べるの？大晦日は年越し蕎麦食べる？天ぷらそばなの？」と 明久さん 皆の年末恒例の決まり文句が聞こえてきました(^) コロナ禍の中 休日のお楽しみと言うと、勝さんは時短のサイクリング、和也さん、明久さん、仁さんは ホームから僅か数メートルの位置にある自動販売機で、コーラとコーヒーを買う事と床屋さんに行くことです。自粛自粛！！そして、皆さん待ちに待ったクリスマス会ではハンバーグ唐揚げ、あつあ

つのフライドポテト サラダにクリスマスケーキ。そしてプレゼントは暖かい靴下！と、皆さん大満足でした（ケーキ美味しかったね(^)）皆さんの気を緩める事のないコロナ感染予防対策のお陰で、無事に今年を乗り越えることができそうです、みんな本当に頑張りました(^) お出かけはできなくても、楽しい冬休みを過ごしてね。そして良いお年をお迎え下さい。



【西伊興ホーム】

竹内 東子

早いもので2020年も残りわずかとなりました。

普段、ホームではコロナ対策として密を避け、男子女子別々に食事の時間をずらして、向かい合わないようにして静かに食事をしているのですが、せっかくのクリスマスイヴということで、検温・消毒・換気はもちろんのことほんの短時間ではありますが、久しぶりに全員揃っての小さなパーティーをしました。ハンバーグやケーキを食べ、サンタさんからプレゼントもありました。

（笑）楽しいおしゃべりや歌うことも自粛中ですが、クリスマスソングをCDで流し雰囲気はバッチリでした。青木さんはトナカイの帽子を被り「ありがとう」「おめでとう」と言っていました。花田さんも赤い帽子を頭にちょこんと乗せて満面の笑み。松本さんは「おいしーい」「かわいーい」とニコニコしていました。安部さんも自前のチョコレートをみんなに分けてくれました。増田さんはプレゼントを気に入ってくれた様子です。そんな皆を見てニコニコしていた田沢さん。

いろいろと大変なコロナ禍ではありますが、メンバーさんたちと接する時間はとても楽しい一年でした。年末年始の冬休み・ホームに残るメンバーさんと何して遊ぼうかな ^\_^ 皆さん良いお年を！



## 【健康診断を行います】

毎年行っている健康診断を2月1日(月)に健診車に来て頂き、葦の会作業所で行います。今年はコロナウイルス感染症予防対策の為、換気はもちろん、密を避けるため少人数ずつ時間を区切って行います。自分の体の状態を知る大切な健康診断ですので、しっかりと感染対策をしたうえで行いたいと思います。内容は「問診・身長、体重測定・聴力検査・血液検査・尿検査・視力検査・血圧測定・心電図・胸部レントゲン」です。結果はメンバーとご家族にお知らせいたします。注意しなければならない事が見つかった場合は、看護師から詳しくお話させていただきます。ご本人の身体のことについてご心配な事がありましたら、どんな小さなことでも構いませんのでご相談ください。また、作業所は「西伊興クリニック」さん、「しらいし歯科」さんと協力協定を結んでいます。普段からお世話になっており、メンバーの様子もよく知ってくださっていますので、両クリニックさんに相談することもできます。日々のメンバーの様子観察、毎週木曜日の体重・体脂肪・血圧・心拍数などのチェックを合わせて、メンバーが健康に快適に過ごせるようご家族と連携しながら支援していきます。



コロナウイルスだけでなく、インフルエンザやノロウイルスが流行る時期です。寒さもこれからが本番！バランスのよい食事と十分な睡眠で体力をつけ、しっかり予防して元気にこの冬を乗り切りましょう。

看護師 釜本

## <花売り情報>

1月 7日(木)・19日(火)・27日(水) 竹ノ塚センター

1月13日(水) ビッグ・エー花畑店

1月14日(木) ベルクス南花畑店

1月20日(水) ビッグ・エー南花畑店

1月21日(木) ベルクス古千谷店

## カルチャー教室 今後の予定

さをり・陶芸 今月はお休みします。

習字 1月13日・27日

水彩画 1月15日・29日

## 編集後記

あけましておめでとうございます。皆様、どんなお正月を過ごされたのでしょうか？ 年末からコロナウイルスへの感染者が急激に増え、感染予防の為家で過ごされた方が多かったのではないのでしょうか？私も、孫が生まれ息子や娘の家族みんなで集まり、にぎやかなお正月を過ごすのを楽しみにしていたのですが、家に集まることはせずリモートで皆が顔を合わせる時間を作りました。また、ずっと帰る事が出来ていない郷里の母とも画面を通じての新年のあいさつでした。92歳になった母は画面越しに話すことが不思議な様子でしたが、(\*^\*)vさて、年始早々映画の話ですが、12月に「GOGO(ゴゴ)94歳の小学生」という映画を観ました。この映画はケニアに住む女性が、子供期は牛の世話で忙しく、また女の子は学校に行かなくてよいという父の考えから学校へ行く事が出来ず成長しましたが、教育の大切さを痛感し、自分の子供や孫も学校に通っていない事を何とかしようと自分も孫と一緒に小学校へ入学し、寄宿舎で子供たちと共に過ごしなが勉強し、女子の教育の大切さを訴え、女子の寄宿舎を増設することに力を注いだドキュメンタリーです。彼女は言い続けます「学ぶことは何歳になっても始められる、大切ことは学び続け、得た知識で世界を変えていく事」と。でも固苦しいドキュメントではなく、映像の美しさと、キュートな会話と・・・笑えて、考えさせられて、元気が出る映画です。さらにもう一つご紹介したいのが「家族だから愛したんじゃない、愛したのが家族だった」(岸田奈美著)という本です。車いすユーザーの母、知的障害のある弟、急逝した父という状況での日々をつづる自伝エッセイなのですが、ギャグが炸裂します。うんうん、そうだよね!と頷け、笑えて、ホロリときて、そして元気が出る本です。とても読みやすいです\(^o^)/。元気が出る2連発!コロナ禍の今、先行きの不安と苛立ちと・・・でも前を向いて生きていきたいですね。できない事よりもできる事、できる方法を考えて。今年も葦の会らしさを発揮して、メンバー・職員皆で元気に楽しく働いて、過ごしていきたいと思います。よろしく願いいたします。(池田)